

# 産官学金連携〈地域おこし×災害支援フードトラックプロジェクト〉 「食による地域おこしと災害支援に関する 研究開発に係る連携協定」を締結

2018年8月31日(金)／辻調理師専門学校



左から：柏谷泰行、玉村雅敏、尾崎一正、大迫哲也（敬称略）

食のプロを育成する教育機関、辻調理師専門学校（大阪市、校長：辻芳樹）は、8月31日付けで、慶應義塾大学 SFC 研究所 社会イノベーション・ラボ（代表：玉村雅敏）、株式会社 mellow（代表取締役：柏谷泰行）、鹿児島相互信用金庫（理事長：稲葉直寿）と共に、「食による地域おこしと災害支援に関する研究開発に係る連携協定」を結び、締結式を開催しました。会場には、メディア、自治体、大学、鉄道、建設業の関係者など幅広いジャンルの方々45名にご参集いただきました。

今回の連携協定は、4者の緊密な連携のもと相互に協力し、地域おこしと災害支援に関する研究開発と多様な主体による連携を促進することにより、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に貢献する「人材育成×社会課題×ビジネス」の相乗効果のある社会システムの構築と、安心して持続可能かつ活力のある地域社会の形成、未来社会を先導する人材育成、実学の促進等に寄与することを目的とします。

本日の締結式では、慶應義塾大学総合政策学部教授 玉村雅敏氏、株式会社 mellow 代表取締役 柏谷泰行氏、鹿児島相互信用金庫常務理事 大迫哲也氏、辻調理師専門学校副校長 尾崎一正が挨拶し、各自が担う役割などについて説明を行いました。そして、本連携協定に基づいて9月1日に発足する「地域おこし×災害支援フードトラックプロジェクト」についても説明会を開催しました。また、本協定の協力自治体1号として長島町（鹿児島県、町長：川添健）の協力により、フードトラック「ブリうま食堂」の展示と、そこで販売されている「ぶりデカ弁当」サンプルの試食も行いました。

今後、辻調理師専門学校は当プロジェクトに特化した料理人育成カリキュラムを作成し、食を通して地域おこしや社会課題解決を担える人材の育成に尽力してまいります。

